

みんなでつくるまち みんなで考える「広報紙」

広報しみず

ゆう・える

Shimizu

2019

1



特集 写真で振り返る1年

ゆう **える**

楽しみながら運動ができる！
「チャレンジ・ザ・ゲーム」

表紙写真 清水幼稚園もちつき

写真で振り返る1年 ~平成30年を振り返って~

新年あけまして
なめじゅんじゅん

町民の皆様には、希望に満ちた輝かしい新年を迎えられていることと心からお慶び申し上げます。また、日頃より町政に対する絶大なご支援とご協力を賜り心から感謝とお礼を申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、平成二十八年の台風災害復旧工事は順調に推移していますが、未だご不便をおかけしているペケレベツ川に架かる橋梁をはじめ、町道の一部など順次復旧に努めてまいります。

基幹産業の農業におきましては、昨年の春先は天候にも恵まれましたが、その後は長雨や日照不足の影響で、てん菜は平年並みとなりましたが秋まき小麦、馬鈴薯、豆類はやや不良となり、期待された収量とならず残念な結果となりました。

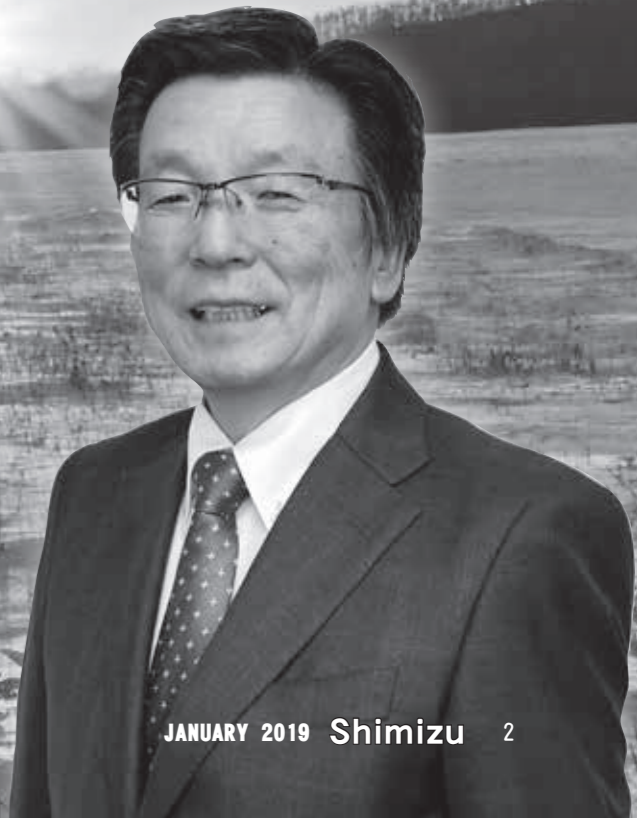
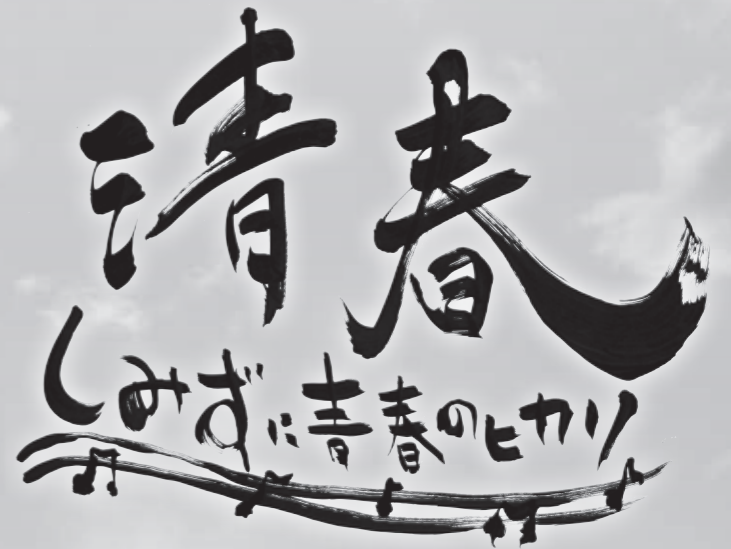
一方、酪農・畜産では、北海道胆振東部地震による大規模停電の影響で生乳廃棄や疾病、長雨による粗飼料不足など甚大な影響があり、大変心配しておりますが、前年以上の生産量が確保され安堵しております。災害に備えた環境づくりの必要性を改めて考えさせられたところでもあります。

本町の農業は、町内の農産物加工業や運輸・機械工業、商業など、町全体の経済波及効果も大きく、農業者と商工業者・消費者とのつながりを深めて、更なる地産地消の推進を図ることが大切です。

昨年は新たな食のイベントとして「十勝清水肉・丼まつり」を開催し、予想を超えた来場者で、本町の畜産資源や食、まちのPRができたものと思います。実行委員会やご来場者に感謝するとともに、本年も皆様に喜んでいただける内容で開催してまいります。

本町の人口は、およそ九千五百人となり、人口減少対策や、少子化対策などは喫緊の課題です。更なる定住移住施策や、昨年から実施している結婚支援事業などに力を入れてまいります。

また、活力ある清水町のまちづくりを進めるために、災害復興を進め、防災体制を築くとともに、清水町まちづくり計画や、清水町人口ビジョン・総合戦略を推進し、子どもたちの幸せを第一に考える子育て・教育環境の充実、いつまでも安心して暮らせる医療・福祉施策を推進してまいります。



そのためにも、町民との対話を重視し、協働のまちづくりを全力で推進してまいりますので、皆様のなお一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、今年一年が皆様にとって、素晴らしい年となることをご祈念申し上げます、年頭のあいさついたします。

清水町長 阿部 一男

1月 第九交響曲演奏会 復興の願いを「歓喜の歌」に乗せて



9月 初開催の肉の祭典 十勝清水肉・丼まつり 清水の食材を使った肉丼に舌鼓

昨年1年間の出来事を写真で振り返ります。広報しみずに掲載しきれなかった写真も含め、笑顔いっぱいのまちの様子をお伝えます。



9月 秋まつり 【御影地区】 わっしょい! わっしょい! 元気な声が響き渡る



【清水地区】 威勢良く町内を練り歩く





8月 北海道日本ハムファイターズ
ベースボールアカデミー



7月 十勝清水トラックマーケットオープン



1月 新年氷上まつり



2月 町民スケート大会



10月 むかわ町で牛玉ステーキ丼の
炊き出し支援



7月 清流まつり



1月 全十勝Aが全国中学準V



4月 町ホルスタインスプリングショウ



12月 清水小学校パイキング給食



11月 チアエンジェル
パトンドワーズ発表会



3月 羽帯駅さよならイベント



5月 御影公園桜まつり



5月 クリーンデー



11月 清水町男子図鑑撮影開始

- 12月**
- ▼過去、現在から未来を考える清水高校総合学科を語る集い開催
- 11月**
- ▼町内撮影のニート・ニート・ニートが上映
 - ▼おびしんキューピットと結婚支援連携協定を締結
 - ▼町内14か所で町民と町長のまちづくり懇談会
 - ▼コイノヨカン(恋の予感)プロジェクト始動
- 10月**
- ▼第63回開町記念式を挙げる
 - ▼新教育長に三澤史佐子氏就任
 - ▼第一回防火フェスティバル開催
- 9月**
- ▼総合防災訓練を実施
 - ▼胆振東部地震で大規模停電を経験
 - ▼初開催の十勝清水肉・丼まつり
- 8月**
- ▼マミーのまんまふれあい食堂がオープン
 - ▼清水高校のハイスクールパーティシエロワイヤル2018奨励賞作品がセイコーマートで商品化
 - ▼日本ハムファイターズベースボールアカデミー開催
- 7月**
- ▼アイスアリーナがオープン
 - ▼町内10団体とまちづくり懇談会
 - ▼トラックマーケットがオープン
 - ▼地域防災計画見直しで避難体制を強化
- 6月**
- ▼文化会館改修工事はじまる
 - ▼しみずグリーンフェスティバル開催
 - ▼十勝若牛@アスパラまつり開催
 - ▼御影青年部平成OB会がコミバス停留所にベンチ寄贈
- 5月**
- ▼2年ぶりのやきもの市開催
 - ▼北海道150年記念ほくでんファミリーコンサート
 - ▼クリーン・デーで100人が清掃活動
 - ▼国道38号小林橋と清美橋の復旧工事が完了
- 4月**
- ▼健康ポイント制度はじまる
 - ▼農村部と市街地を結ぶ予約型乗合タクシーや清水帯広間バスが運行開始
 - ▼介護保険料を改定
- 3月**
- ▼羽帯駅さよならイベント
 - ▼清水高校生が育てた花を幼稚園・保育所の卒園式・修了式に寄贈
- 2月**
- ▼平昌五輪女子アイスホッケーに小野・近藤選手が出場
 - ▼牛とろ丼が全国ご当地どんぶり選手権グランプリ準V
- 1月**
- ▼新年氷上まつりで初滑り
 - ▼清水町第九交響曲演奏会

平成30年の主な出来事

12/11 町のミライを
若者らしく真剣に



自分のライフプランや町の現状・課題に関心を持ってもらう「清水ミライ若者会議」を開催しました。この日は御影中学校3年生を対象に、今後清水中学校と清水高校生にも開催します。正解のない問いにも若者らしい発想で真剣に討論。「あなたは町長です。町に住んでもらうために何を实行しますか？」の問いかけは、町の将来を考える機会を深めます。3月には中高校生合同のフォーラムも予定しています。

12/8 在校生や卒業生が地域と共に考える
～清水高校の過去・現在・未来～



清水高校の総合学科を考える集いに、中学生や町民ら100人が参加しました。在校生による学校説明や総合学科で学ぶ姿の発表、卒業生によるパネルディスカッションが行われました。「これからは地域との関わりを深め、わが町のことをもっと知るべき」「幅広い選択科目があるからこそ興味関心を広げ、積極的にチャレンジして」と自らの経験をもとに、これからの清水高校のあるべき姿などが語られました。



6月 十勝若牛@アスパラまつりで舌鼓



8月 第13回全国高校選抜アイスホッケー大会準V



9月 パン甲子園2018 グランプリ初受賞



7月 高齢者健康イベント「65フェスティバル」

焼き砂を提供のクリーン開発(株)に対して感謝状贈呈

砂利道の整備活動を行った伊豆倉組(株)、松谷建設(株)、西江建設(株)に対して感謝状贈呈

清和団地内道路の補修活動を行った藤原工業(株)に対して感謝状贈呈



12/19



12/6



12/4

じょうほう 瓦版

全道中学スケート・アイスホッケー大会出場報告
アイスホッケーの部 全十勝Aチーム(清水中・御影中)、スピードスケートの部



12/18

第52回中学生の税の作文で清水中学3年植松陽菜さん・中田千尋さん・二階堂くるみさんが町長賞を、松嶋菜さんが町租税教育推進協議会会長賞を受賞



12/17

清水・御影地区にて歳末防犯運動を実施



12/16



5月 小林橋と清美橋の復旧工事完了で1年9か月ぶりに国道38号が通常通行可能に

笑顔と対話が
あふれるまちに
ここで振り返った出来事のかにも、2018年はたくさんの元気な笑顔に出会いました。
これからは清水町は未来への可能性を求め、活気あるまちづくりを実現していきます。
イベントやコミュニティ活動への参加が「協働」の第一歩。
輝かしい2019年も清水らしさを発揮できるよう町民みんなで、笑顔と対話があふれるまちを築いていきましょう。

平成31年4月からどう変わる？ 『御影保育所』が 『保育所型認定こども園』に

御影保育所は現在、道の認可を受けた御影地区で唯一の児童保育施設です。保育所は保護者が共働き等の理由で家庭で保育できない子どもを預かる施設のため、家庭で保育できる子どもが集団保育・教育を受けるには、清水幼稚園や町外の幼稚園に通わなければならない。

4月から御影保育所は、保育所型認定こども園（御影こども園）となり、3歳以上のお子さんであれば、保護者の就労の有無に関わらず集団保育・教育サービスの提供を受けられるようになります。

認定こども園は4種類

種類	特徴
幼保連携型	幼稚園と保育所が連携し両方の機能を併せ持つ
幼稚園型	幼稚園施設が保育時間を確保して保育所機能を併せ持つ
保育所型	保育所施設が保育を必要としない3歳以上の子どもを受け入れ、就労していない保護者でも利用できる幼稚園機能を併せ持つ
地方裁量型	認可外保育施設

子どもの認定は3区分

認定区分	年齢	対象者
1号認定子ども	3歳～5歳	幼児期の教育を希望する保護者の子ども
2号認定子ども	3歳～5歳	共働き世帯等で家庭で保育できない保護者の子ども
3号認定子ども	0歳～2歳	子ども

※3歳以上は全ての子どもが利用できるようになります！

御影保育所 萩生田 彩 保育士

現行の保育所が認定こども園になると何が変わるのか？

◆保護者の就労の有無に関わらず3歳以上の子どもが利用できる

保育所は入所していても保護者の就労等の状況により、退所や幼稚園等へ入り直さなければならない。しかしこども園の場合は、退園しなくても子どもの認定変更で、引き続き同じ施設を利用できます。

◆保育時間、保育料が新しく設定される

1号認定子どもに区分される幼児教育を希望して入園したお子さんの保育時間は、幼稚園と同様に1日5時間程度、年間200日程度で設定されます。

また、保育料は給食費を含めて所得に応じた料金となります。

認定こども園になって
もここは変わりません

◆保育が必要なお子さんは
今までどおり

2号及び3号認定子どもと呼ばれる、施設での保育が必要なお子さんの保育時間は、これまでと変わらず認定状況等に依りて1日8時間、11時間程度、年間290日程度の利用ができます。

また、保育料もこれまでと変わらず所得に応じた料金となります。

◆時間外保育、一時保育も
今までどおり

保育時間（5時間、8時間、11時間）を超えてこども園を利用する場合は、時間外保育（旧・延長保育）を30分150円が利用できます。

こども園に入園していない子どもで一時的な保育が必要になった場合は、一時保育を1時間300円で利用できます。

◆教育・保育の目的も
今までどおり

こども園に入園した3歳以上の子どもは、認定区分に関わらず同じクラスで活動します。子どもの指導はこれまでと同様に、幼児教育を行う施設が共有する目標を目指していきます。

こども園では、子どもによって保育時間や保育期間に違いがありますが、年間の活動や行事などの体験活動は、クラスの子ども同士での違いが少なくなるよう計画します。

利用日で比較

認定区分	利用日	休日
1号認定	月曜～金曜	土、日、祝日、年末年始、春・夏・冬休み
2・3号認定	月曜～土曜	日、祝日、年末年始

御影保育所 田村 暁子 保育士専門員

一日の活動の流れを標準的なケースで比較

認定区分	時間外保育	登園	朝の会	保育	給食	帰りの会	時間外保育
1号認定	7:30-8:30	8:30	9:30				16:00-18:30
2号認定		7:30	8:30	9:30	給食	午睡	13:30
						帰りの会	自由
							18:30

御影保育所 福原 千里 保育士

今しかできない
たくさん経験や体験を

御影保育所 田中 昌樹 所長

町内の保育所では、「丈夫な体げんきな子、明るくやさしい子、豊かな心がある子」を保育目標に掲げ、集団保育と幼児教育を行っています。しかし、入所には両親の就労等の条件がありました。

4月からこども園になることで、3歳以上の幼児教育を望む子は誰でも利用できるよになります。

幼児期の学びは、「教わる」ばかりではなく、実体験を通して「自ら学び、考え、取り組む」ことが大切です。身近な自然や地域との関わりなど御影ならではの環境を活かして、幼児期にしかできない経験・必要な体験ができるようにしていきたいと考えています。

■問い合わせ先
子育て支援課児童保育係
御影保育所
☎0156-69-2226
☎0156-63-2026

負担金算定の変化

十勝圏複合事務組合加入の必要経費

加入時負担金 **9,900万円** ▶ **1億2,200万円**

年間分担金 **1,900万円** ▶ **2,900万円**

再計算

広報しみず平成30年3月号でお知らせしていた「広域処理で変わる経費の比較」の中の数値に見直しがありましたのでお知らせします。

3月にお知らせした新たな負担金の数値は、十勝圏



複合事務組合において、平成24年度時点の推計値を用いて試算されたものです。今回改めて直近の平成29年度の実績値を基に再度計算された結果、上記のとおり金額が増加しました。

推計値に示す将来予測値のごみの量に比べ、平成29年度実績値が予測どおりに減量化が出来なかったことが増額の大きな要因です。この状況をしっかりと把握し考慮すべきでした。皆様へ誤った情報をお伝えしたことをお詫び申し上げます。

なお、年間分担金はくりりんセンターへのごみの搬入量によって増減しますので、減量化への一層の取り組みをお願いいたします。

資源ごみの出し方

今月は資源ごみのお話です。

資源ごみは4月以降も町で処理します。引き続き正しい分別へのご協力をお願いします。

こんな間違いが多いんですよー



清水町清掃センター所長 町民生活課 大尾 智 課長補佐

容器包装 プラ

ナイロンやポリエチレン製など...
資源ごみではありません！（例：クリーニングに包みである袋、スーパーの袋詰め台にある袋、ラップなど）資源回収の対象となる「容器包装プラ」には、必ずマークが付いています。

ペットボトル

ペットボトルに見えるもの...
よく見ると「プラマーク」が付いている容器包装プラのことも。資源回収の対象となる「ペットボトル」には、必ずPETマークが付いています。

紙資源

買い物のレシート...
熱で印字するためにカーボンが含まれる紙は、紙資源にはなりません。その他にも、写真や油紙などの紙資源にならないものは「燃えるごみ」で出してください。「紙資源」には、必ず紙マークが付いています。

平成31年4月1日（来年度）から 「事業系ごみ」を清掃センターへ持ち込む 「中継方式」の処理手数料が変わります

■問い合わせ先：町民生活課生活環境係 ☎ 0156-62-1151

事業系ごみの料金（10kgあたり）

現在 **120円** ▶ 4月から **290円**

可燃 不燃 大型ごみ

170円増！

ごみ袋や大型ごみの**家庭ごみ**の料金は変わりません！

290円 = **170円/10kg** + **120円/10kg**

くりりんセンター 処理手数料分 中継方式の積み替え経費分

290円の内訳

120円の算出

中継方式にかかる年間経費を算定
・十勝圏複合事務組合への加入負担金
・積み替え施設改修、積み替え車両購入、運搬業務委託 **870万円**

中継方式によるごみの搬入予想量 168ト（H28年度の搬入実績 481トの35%）で年間算定経費を割る **510円/10kg**

現行のごみ処理にかかる経費の受益者負担割合は1/4 その割合で算出 【510円/10kg × 1/4】 **120円/10kg**

中継方式とは？
広域化に伴う中小事業者への負担軽減として、一部の事業系ごみを清掃センターで受入れ、町がくりりんセンターまで運搬すること。



- ポイント1** 中継方式を利用できるのは、清掃センターへの搬入実績（H29年度）が10ト以下の事業者です。食品残渣やオムツ、医療系廃棄物は持ち込めません！
- ポイント2** 事業系の資源ごみは、中継方式利用が「可」「不可」に関わらず、清掃センターで無料で受入れます。資源化できるよう「汚れていない」「分別されている」のが条件です！

可燃・不燃ごみを減らしましょう

可燃ごみの約20%は「生ごみ」と言われています。可燃ごみを減らすため、各家庭で「食べ残しや調理くず」を減らすよう献立を工夫をしたり、生ごみの80%を占める水分を十分に切るなど、量を減らす工夫をしましょう。

そのごみ「資源」になりませんか？

何気なく捨ててしまっているごみの中に「紙」の付いているものはないですか？

分別にご協力ください。

「資源ごみ」を増やしましょう！

分別が面倒…。汚れているからいいや…。などと資源として分別されずに「可燃ごみ」や「不燃ごみ」として出されるごみを減らし、くりりんセンターへ持ち込む量を減らすことが、負担金の減少につながります。

汚れたプラ容器のお弁当容器などの資源は、溜めずにその都度洗うなど、少しの手間をかけていただくことの積み重ねが大切です。



「子育ての“気づき”を生かす」

介護士 岩瀬 望さん(31)

介護老人保健施設みかげ

介護福祉士を目指すには、福祉系高校・介護福祉士養成施設（短大・専門学校等）の卒業や、介護実務3年と実務者研修修了により受験資格を取得し、国家試験に合格する必要があります。

清水町で生まれ育ち、清水高校では、農業や食品加工等を勉強し、卒業後は事務職として働きました。結婚と出産を機に仕事から遠ざかりましたが、子育てが落ち着いたころ、知人の紹介で、介護士の仕事を始めました。初めての仕事で覚えることがたくさんでしたが、困った時に同僚がすぐにフォローしてくれ、明るい雰囲気の仕事に臨むことができました。仕事では、子育てで学んだ「気づき」を生かし、介護を受ける側の気持ちを考え、支援するよう努めています。これからの目標は、支援の専門性を高めるための介護福祉士の資格取得です。仕事と子育ての両立を目指し頑張ります！



HELLO BABY



すくすく育てね！

佐々木

琥士朗 ちび

「HELLO BABY」は、6か月から2歳くらいの赤ちゃんを掲載しています。希望される方は広報広聴係までお気軽にどうぞ。写真はメールでも受け付けています！
mail:koho1@town.shimizu.hokkaido.jp



受けていますか？乳がん検診

馬瀬戸 菜 保健師

増えています！乳がん

近年、乳がんは女性が亡くなるがんとして増加傾向にあります。乳がんの死亡数の推移をみると、平成12年と比べて約1.6倍になっています。

年	死亡数
昭和 55 年 (1980)	4,141 人
平成 2 年 (1990)	5,848 人
平成 12 年 (2000)	9,171 人
平成 22 年 (2010)	12,455 人
平成 28 年 (2016)	14,015 人
平成 29 年 (2017)	14,285 人

※国民衛生の動向 2018/2019 より

日頃からのセルフチェックがポイント
普段自分の身体をみていますか？検診を受けることはもちろん大切ですが、日頃から自分で乳房の状態を確認することも大切です。お風呂に入る時など、鏡を使って乳房の状態をチェックしましょう。

乳がん検診を受けましょう！

みなさんは乳がん検診を受けたことはありますか？

本町では、毎年乳がん検診を行っています。今年度は3月7日～9日で行います。土曜日にも行いますので、普段お仕事されている人もこの機会を利用してご自身の状態を確認しましょう。町の検診の日程と合わない場合は、病院での個別検診も行っています。まだ受けたことのない人は、この機会にぜひ受けてみてください。

検診に関する問い合わせはこちら

保健福祉課健康推進係

☎0156-67-7320

母子手帳アプリ
はじめました

妊娠中の人や子育て中のお母さん・お父さんに向けて、妊娠・出産・育児に関する情報をアプリ（無料）で配信します。

このアプリを使うと、本町のママパパ学級や乳幼児健診、子育て支援センター事業（げんきひろば等）、各種手続きなどのお知らせがスマートフォンにいち早く届きます。本町からのお知らせを受け取るには、アプリのダウンロード後に「自治体登録」が必要です。

健診の記録をデジタル化・グラフ化でき、成長の記録を家族と共有できます。ぜひ登録してくださいね！

自治体登録

- ①「フォーム・設定」画面から「自治体設定」を選択
- ②「北海道」↓「清水町」を選択

便利な機能

- ・家族共有機能でパパもうれい。
- ・医師監修で安心のお役立ち情報やおすすめレシピが満載。
- ・成長日記をつけて子ども成長が分かる。

アプリのダウンロードはQRコード又は「母子健康手帳」で検索！



問い合わせ先

保健福祉課健康推進係
☎0156-67-7320





冬～厳しさに生きる人の中で きたえ磨く

地域一丸となった取組へ

“しみず「教育の四季」子どもフォーラム”は、今年度で12回を迎えました。小・中・高の児童会・生徒会の代表が一堂に会し、町民も含め、意見交流する取組は本町ならではのものです。町内の各学校の児童会・生徒会の「教育の四季」の取組についての発表のあと、司会進行を清水高校生が行う中で、いじめやスマホ等のテーマに沿って、参加者全員で交流を行っています。その他にも幼保・小連携、幼児期からの英語活動等、様々な特色ある活動を推進しています。地域総がかりで子どもたちを育む「地域とともにある学校づくり」に向け、是非とも町民の皆様方には一度学校におもむき、清水の子どもたちの学びの姿をご覧いただければ幸いです。



文化団体・活動紹介

● 社 ●



短歌サークル「社」は平成27年度の町の公民館講座を機会として28年に発足し3年目になります。講師の三澤史佐子氏による指導の下、半分以上は短歌の初心者でしたが、様々な大会にチャレンジし入賞をする会員が出るほどになりました。日本語の助詞の使い方、音を表すオノマトペなど多くを学びながら和気あいあいと月に一度の例会を愉しんでいます。興味のある方は一度参加してみてください。

●活動日・場所
活動日時 月1回 日曜日 10時～12時
活動場所 文化センター
※連絡先は
教育委員会社会教育課 (☎0156-62-5115)

図書館だより

毎月19日は読(19)書の日

平成を振り返るこの1冊

「国の内外、天地とも平和が達成される」(『史記』五帝本紀の「内平外成(内平かに外成る)」、『書経』大禹謨の「地平天成(地平かに天成る)」から) 願い制定された「平成」もまもなく終わりを迎えます。しかし時代感覚としては「平成」であったとは思えないほど激動の30年だったようにも思います。

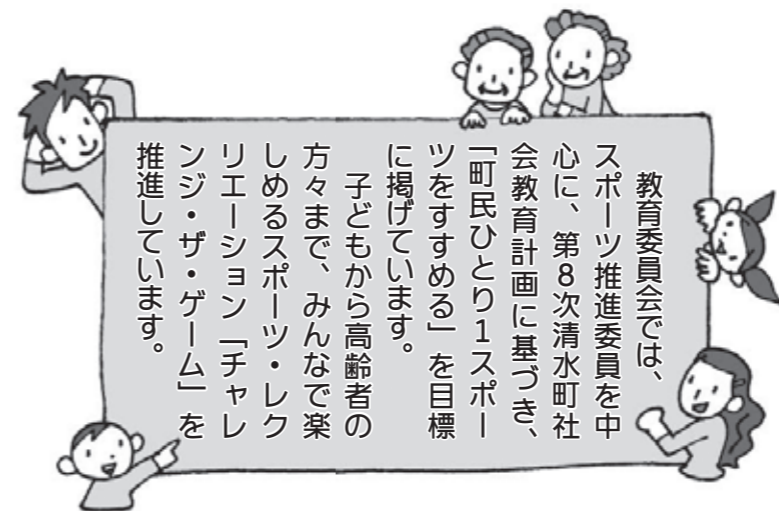
さて、そんな短くも激しく過ぎていった平成にも、時代を映すベストセラーは生まれました。そこで図書館では平成のベストセラープレイバックと題して、これから数回にわけて図書を展示・貸し出ししていきます。その時の記憶が呼び起こされるベストセラーで過ぎていく平成に別れを告げて、新しい未来に思いを馳せてみてはどうでしょうか。



新着図書からピックアップ

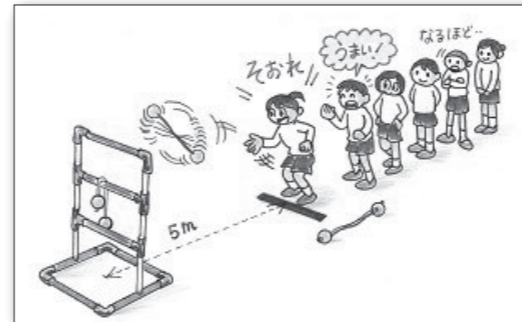
『世界に一軒だけのパン屋』 野地秩嘉著/小学館
十勝の有名なパン屋さんとは？と聞かれて名前を思い浮かべないという人ははいないくらい十勝っ子に愛されている「満寿屋」。地産地消に心血をそそぎ国産小麦100%を誇るパン屋の軌跡が1冊の本になりました。パンの製造に欠かせない牛乳は清水町産とのこと。農業王国十勝の名に恥じない企業の頑張りや消費者である私達にも元気を与えてくれます。

- 『ラストラン』 あさのあつこ著/幻冬舎
- 『Matt(マット)』 岩城いづみ著/集英社
- 『銀河食堂の夜』 さだまさし著/幻冬舎
- 『どんまい』 重松清著/講談社
- 『白いジオラマ』 堂場瞬一著/中央公論新社
- 『沈黙のパレード』 東野圭吾著/文藝春秋
- 『好日日記 季節のように生きる』 森下典子著/PARCO出版
- 『シスターヒロ子の看取りのレッスン』 小出美樹著/KADOKAWA
- 『医師に「運動しなさい」と言われたら最初に読む本』/日経BP社



学習情報

ゆう・える



『スピード・ラダー・ゲッター』
ラダー(はしご)に向けてひも付きのボールを投げて、全てのラダー(はしご)にボールをかけてタイムを競う



『キャッチング・ザ・スティック』
スティックを倒さないように移動!



チャレンジ・ザ・ゲームを体験してみたいグループ等には、道具の貸し出しも行っていきます。
■お問い合わせ先
社会教育課スポーツ係
☎0156(62)5115

チャレンジ・ザ・ゲームとは?

チャレンジ・ザ・ゲームは、グループで交流しながら記録に挑戦します。遊び感覚で身体を動かして楽しさを味わえる日本レクリエーション協会が推進する『新感覚』のスポーツ・レクリエーションです。ボールやなわなどの道具を使つたユニークなゲームがたくさんあります。

12月15日(土)、ハーモニープラザで、チャレンジ・ザ・ゲーム講習会を開催しました。27人が集まり、初めての参加者でも楽しみながら身体を動かしていました。
多くの参加者が「楽しい!」「またやりたい!!」と満足した様子でした。



デイスコンで盛り上がる!!

毎週火・水の19時から町体育館で総合型スポーツクラブ「JOYすぽペケレベツ」が活動しています。デイスコンは水曜日の19時30分から行っています。興味のある方はぜひご参加ください。
※体験は無料ですが、参加される都度、参加料100円がかかります。

清水人

しみず じん

いくつになっても現役宣言！
今だからできる郷土愛のかたち
～ 全ては主人公 9,494 人のために ～



人から繋がる
ひとつひとつの縁を大切に
赤堀 浩二 さん (64 歳)

今から遡ること39年。当時の御影消防団長から「消防団に入って一緒に活動しないか？」とのひとこと。熱い誘いを受けたのをきっかけに、消防団活動を始めた赤堀さん。

消防団の活動は、主に火災現場での消火活動。消防団員は、消防署員とは違い、他に職業をもつ傍ら、召集のサイレンを合図に火災現場へ急行します。

「万が一、火が出てしまったときに現場で動けなくなってしまうので、普段の訓練は欠かせませんね。」いざというとき、地域や町民を守るために、消防団は月2回通常の訓練を行っています。

「火災が起こらないことに越したことはない」と語気を強めます。普段、消防団の活動しながら理容室の仕事にも精を出しています。「45年くらい理容師の仕事をしているんだけど、これからも現役で頑張るよ。」と、やわらかい微笑みにあたたかい人柄を感じます。



一糸乱れぬ分列行進を披露

今まで向かった消火活動で過酷だったのは真冬と夜。厳しい寒さの中でも消火活動は続くため、心が折れそうになる日も。牧草ロールの自然発火の際も、水が中に浸透しにくいため

訓練は欠かせませんね。」いざというとき、地域や町民を守るために、消防団は月2回通常の訓練を行っています。

「厳しい訓練になるとは思うが、けがなく頑張っている。」と大会に出場する団員へ激励の言葉も。職場の理解・配慮があってこそ消防団の活動が成り立っています。

「清水人」を募集します。
働き盛りと呼ばれる世代を超えてもなお現役で、地域のため、健康のため、若者の育成のためなど、この町で活動をしている方を募集しています。本町在住であれば自薦・他薦は問いません。企画課広報広聴係 ☎0156-62-2114 までご連絡ください。

町道民税と固定資産税は1月1日です決まります。



町道民税の課税は、1月1日に本町に住んでいたか否かで決まります。その後移動があっても影響はありません。たとえば、年の途中で町外に転出した場合でも、本町から納税通知書が送られ納税することになります。

亡くなった場合も同様です。1月1日に生存していれば、その年度の町道民税の支払を引継ぐこととなります。

固定資産税は、1月1日現在の土地建物の所有者に対して課税されます。年の途中で売却した場合でも、1月1日の所有者が1年分の固定資産税を支払います。たとえ建物を取り壊したとしても、固定資産税が月割りになることはありません。

このように、町税はある一定の日の現況で納税義務を確定させます。その日を「賦課期日」といいます。賦課期日を定める理由は、課税期間の途中で所有者や課税客体の変更があった場合に、その都度納税義務者や課税標準などを変更すると課税事務が煩雑になり、徴税コストが増加するためです。

インフォメーション

誕生

- 山本 大成 (富久 / 悦子)
- 大谷 祈 (純平 / 侑子)
- 高橋 快多 (勇生 / 友希)
- 玉井 鉄生 (竜也 / 里菜)

結婚

- 八木 和博 (桜井裕美)
- 石田 航大 (鈴木実菜)
- 友田 慎一 (山中奈桜)

哀悼

- 滝本 トシコ (郷愛)
- 土橋 茂 (西松沢)
- 諫山 エミ子 (日の出2)
- 三谷 千工子 (御影中央)
- 佐々木 清登 (日の出3)
- 櫻井 悦子 (興亜)

こんにちは

広報モニター

★コイノヨカンプロジェクト、男子図鑑ともに、ネーミングがいいなと思った。ワーキングチーム、町のサポーター、さらにお

びしんキューピットなど多方面からの支援があり大きなプロジェクトなのが伝わってきた。
★今後も結婚支援活動の内容や進捗状況を広報を通じて町民に知らせてほしい。
★結婚の問題と農村に重きを置いた問題からより広く広げた捉え方にしたのは大きな発展といえる。ならばなぜ結婚しない、したがらない、できない人が多いかの捉え方も必要だと思ふ。
★特集のレイアウトに矢印がついているもの、若干見づらかった。
★ふるさとワーキングホリデーは外部からの新しい視点がたくさんあり楽しいものでした。たくさんの方の登場を期待している。
★年度決算も1ページくらいで良いのではないかな。
★フォーカスが物足りなかった。もっと掘り下げて書いたのではと思う。
★ゴミの出し方が変わる記事は良い。ゴミとして出す頻度の高いものを具体的に提示してほしい。

ちよっぴん作品展

短歌の寄稿がありましたので、紹介します。

短歌

- 遅番を終へていづればホクレンの
ビートの香りほのかに匂う
坂下洋子
- 座椅子をばわが物顔で決めてねる
猫に愚痴れど欠伸するのみ
森山ヤヨイ
- 赤々とやがて散りゆく身を粧い
日高の嶺は高く連なる
村谷三恵
- あお空に涅槃色映えし吾亦紅を
ゆらして風は肌身を透す
橋本佳代子
- 霜月にもみじ鮮やか絵のごとし
朝またたく間に雪化粧なり
藤原静子
- 青空にタンポポの綿毛立ちすくみ
春陽めざして飛んでおくれよ
宇野映子
- 痛む腕労りながら落葉はき
残りし草花さむざむと立つ
田村徳子
- 清水町独身男性多いとう
賑わい求め女性は都会へと
宗像三郎

人口 9,494 人 (-9)

男 4,651 人 (-1) 女 4,843 人 (-8)
世帯数 4,724 (-4)
平成 30 年 12 月末現在 () は前月比

1/16	水		2/1	金	■エントランスホール展「村上俊彦油彩画展 向日葵」(~27日) (図書10時)
17	木	■運転免許更新時講習 (文セ優良13時30分、一般14時30分、違反16時)	2	土	■町民スケート大会 (御影スケートリンク 9時30分)
18	金		3	日	
19	土		4	月	
20	日	■町議会議員選挙 投票7時~、開票21時~	5	火	
21	月		6	水	
22	火		7	木	
23	水		8	金	■町民と町長のふれあいトーク (役場9時) ■平成30年度敬老会 (文化センター)
24	木		9	土	■お話し会 (図書10時30分)
25	金		10	日	
26	土	■お話し会 (図書10時30分)	11	月	
27	日		12	火	
28	月		13	水	
29	火		14	木	
30	水		15	金	
31	木				

役場=清水町役場 文セ=文化センター 御支=御影支所 保セ=保健福祉センター 図書=図書館
ハモ=ハーモニープラザ 町体=清水町体育館 アリ=アイスアリーナ 改善=改善センター
消防=清水消防署 第1=第1保育所 第2=第2保育所 御保=御影保育所
幼稚=幼稚園 清小=清水小学校 御小=御影小学校 清中=清水中学校 御中=御影中学校

町長のフェイスブック
「阿部一男」で検索!
f



町長の日記

新年明けましておめでとうございます。
1月4日、清水町新年交礼会が町文化センターで行われました。
今年も例年より多い130人が参加し、にぎやかに新年を祝いました。
町内景気の回復もあり、皆さん笑顔いっぱいでした。
私もこの2月28日で4年任期の折り返しを迎えます。今年も皆さんの笑顔をエネルギーに変え、町づくりにまい進します。(1月4日の日記より)

編集後記

■明けましておめでとうございます。本年もたくさんの方の笑顔とともに、町づくりのきつかけになるような清水らしさを表現できる一広報「みず」をお届けします。よろしくお付き合いください。
■2ページのタイトル「青春、しみる」は、青春のヒカリは、学校教育課の大内田菜摘さんから揮毫(きごう)いただきました。
将来を担う青春真っ只中の若者と町の未来を一緒に創りたい!見る人に楽しい気持ちになってもうらいたい!等の思いが込められています。新春に相応しい清水らしさが表現された作品です。(田村)
■初めて清水町の学校給食を食べました。どれも美味しい!調理員さんの愛情もった給食で子どもたちはすくすくと育っているのだなあと感じました。
■2018年、とって濃く一年でした。取材に伺った場所が多すぎた。振り返りきれません。たくさんのお出でとご縁に感謝し、今年も元氣いっぱい笑顔で町内を駆けめぐります!(長谷川)